



志賀小学校



比井小学校



自転車に乗る前はしっかり点検 —比井小・志賀小で交通安全教室—

4月27日(月)と4月28日(火)に、それぞれ志賀小学校(保田勉校長)と比井小学校(玉置雅巳校長)で交通安全教室が開かれ、児童ら218人が自転車の点検方法や乗り方について学びました。

この教室は、御坊警察署員、日高町交通指導員の協力のもと開かれたもの。志賀小ではグラウンドに描いたコースを使って道路の通行や横断を練習しました。コースには横断歩道や踏切を設け、交差点には信号機を設置。自転車の乗り方を練習した嶋田和広君は「実際に自転車で走ってみて、勉強になりました。楽しかったです」と話していました。また、体育館でビデオ鑑賞も実施し、交通安全への理解を深めました。

比井小でも体育館とグラウンドで交通安全を勉強。駐在さんや指導員さんから「自転車を発進させるときはちゃんと後ろを確認しよう」「踏切では自転車から降りて渡ろう」など、指導を受けながらコースを走りました。玉置校長先生からは「痛い思いをしないよう、大切な命を守れるように、今日習ったことをしっかり守って自転車に乗ってください」とお話がありました。



新1年生にランドセルカバーと傘を寄贈 —交通安全協会日高町分会—

写真は比井小学校

交通事故ゼロを願い、交通安全協会日高町分会(北垣順一会長)から、この春小学校に入学した新1年生児童に黄色のランドセルカバーが贈られました。同会からは他にも、蛍光色の傘が贈られました。

ランドセルカバーには、「防犯ブザー携帯交通安全協会」と書かれており、児童らが通学する際の安心・安全に一役買うことになります。



■3つのメリット

1

国民の利便性の向上

※面倒な手続きが簡単に

2

行政の効率化

※手続きが正確で早くなる

3

公平・公正な社会の実現

※給付金などの不正受給の防止



マイナンバーとは、国民1人ひとりが持つ12桁の個人番号のことです。マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)は複数の機関に存在する個人情報をも同一人の情報であるということの確認のための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤(インフラ)です。

1人に1つ、マイナンバー

マイナンバー制度の
今後のスケジュール

■平成27年10月

お手元にマイナンバーが通知されます。
※住民票の住所に届きません。住民票の住所とは異なるところにお住まいの方は、お住まいの市町村へ住民票の異動をお願いします

■平成28年1月

社会保障、税、災害対策の行政手続きでマイナンバーが必要になります。申請者には、個人番号カードが交付されます。

■平成29年1月

マイポータルが運用開始予定です。
※マイポータルとは、ご自宅のパソコンから様々な情報を取得できる個人用サイトです



【マイナンバー制度に関する詳細やお問い合わせ】

制度に関するよくある質問(FAQ)や最新情報は、内閣官房のマイナンバー(社会保障・税番号)制度のホームページに掲載しているほか、特定個人情報保護委員会、総務省、国税庁、厚生労働省等の特設サイトでもご覧いただけます。

※内閣官房のページはこちら <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/index.html>

【コールセンターも開設されています】

- ・日本語窓口
☎0570・20・0178 <全国共通ナビダイヤル> (平日9:30~17:30)
- ・外国語窓口(対応言語:英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語)
☎0570・20・0291 <全国共通ナビダイヤル> (平日9:30~17:30)